

# (13) 常勤役員等及び当該常勤役員等を直接に補佐する者の証明書〔様式第七号の二〕

(当該用紙の記載要領を必ずご覧ください。)

様式第七号の二 (第三条関係)

被証明者1人につき、  
証明者別に作成する。

役員等としての経験を有した期間を  
記載する(注1)。  
証明者が証明できる期間。

## 常勤役員等及び当該常勤役員等を直接に補佐する者の証明書 (第一面)

代表取締役、取締役  
事業主、支配人等の  
役職名を記載する。

(1) 下記の者は、次のとおり第7条1号ロ { ㉞ } (2) に掲げる経験を有することを証明します。

役職名等 取締役  
経験年数 平成 30年 4 月から 令和 2年 3月まで 満 2 年 月

証明者が申請者以外の  
建設業者である場合は、  
許可番号、許可年月日、  
許可業種を記載する。

証明者と被証明者との関係 備考  
(例) 宮城県知事 (般-16) 第12345号  
土木工事業 平成16年6月25日 許可

①申請人が法人の場合  
②申請人が個人の場合  
③申請人が個人で支配人を  
置いている場合

(2) 下記の者は、許可申請書 { ㉞ } の常勤の役員 { ㉞ } (2) の支配人 { ㉞ } (2) で第7条1号ロ { ㉞ } (2) に該当する者であることに相違ありません。

令和 〇 年 〇 月 〇 日  
宮城県仙台市本町3-8-1  
株式会社 仙台建設  
代表取締役 仙台 太郎  
証明者

証明者は、証明しようとする期間被証明者が在職していた法人の代表者又は個人の事業主とする(注2)。

区分が変更の場合は、  
変更年月日を  
記載する。

申請又は届出の区分 項番 3 (1. 新規 2. 変更 3. 常勤役員等の更新等)

大臣……………00  
宮城県知事…04

大臣コード 0004

姓の最初から2  
文字を記入

変更の年月日 令和 〇 年 〇 月 〇 日  
許可番号 1804 第012345号  
宮城県知事 (般特-04) 記

右詰めで記入し左余白  
は必ず“0”で埋める。

許可申請書に添付する場合は下段を、それ以外の場合は上段を消す。

複数の許可を受けている場合は、最も古いものを記入する。

身元(身分)証明書の  
字で記入。

◎【新規・変更後・常勤役員等の更新等】  
氏名のフリガナ 19 セン  
氏名 20 仙台 一郎  
住所 宮城県多賀城市鶴ヶ谷1-4-1  
元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕  
生年月日 S31年05月22日

1 新規申請の場合  
2 現在証明されている常勤役員等を変更する場合  
3 更新、業種追加、般特新規を申請する場合  
(変更を伴わない場合)

◎【変更前】  
氏名 21

(注1)

証明者が同一である場合で、被証明者の経験期間が休職又は出向等によって中断している場合は、当該経験期間を2段書きにして1枚の証明書で証明することができる。

(注2)

正当な理由によりこの方法による  
ことが出来ない場合は「備考」の欄に  
理由を記入して、当該事実を証明  
できる他の者(当時の取締役、本人  
が証明)の証明を得ること。